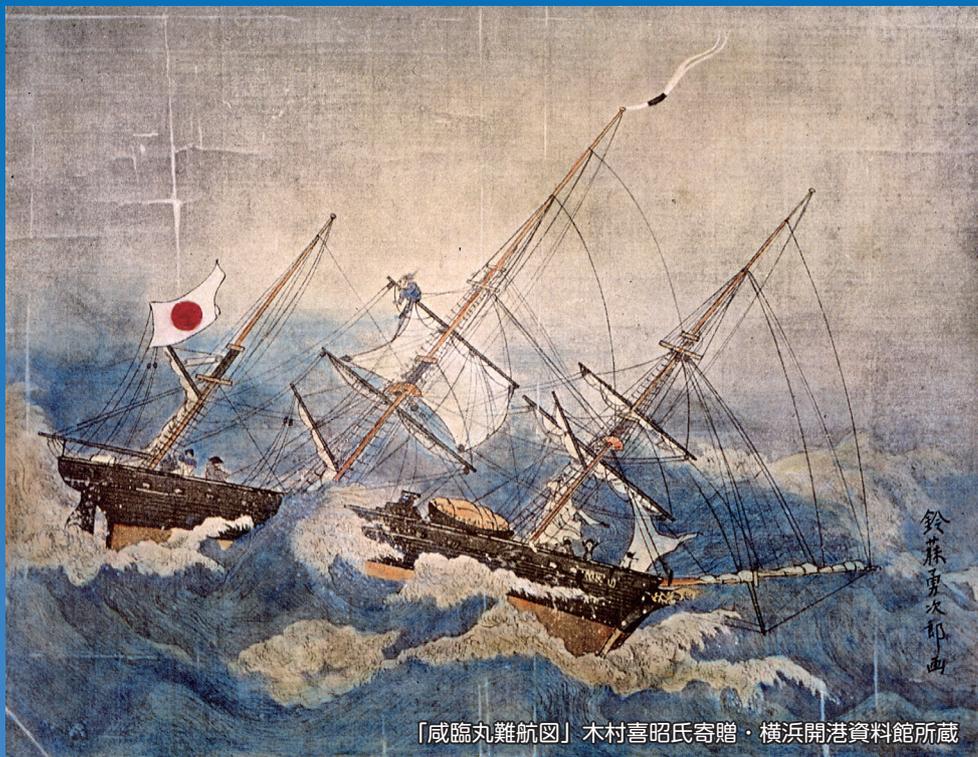


「街かど古典カフェ」 春季講座のご案内

講師を囲みながら、趣のある
空間の中で古典に親しみ、学び、
心豊かな時間を過ごしてみませんか？



テーマ

明治150年記念 「近代日本古典にたどる幕末維新」

講師：芳賀 徹 (国際日本文化研究センター名誉教授・東京大学名誉教授)

開講日 5月26日、6月2日、16日、23日、30日 いずれも土曜日

時間 14:00～15:30 ※最終日のみ14:00～16:00

会場 虎屋京都ギャラリー

定員 30名 (申込多数の場合は抽選)

受講料 8,000円 (5回通し・お茶菓子付)

第1回

杉田 玄白 『蘭学事始』

ためらいながらも少しずつ西洋科学への好奇心に目ざめ、西洋文明の積極攝取へと向かってゆく一学徒の心理。(岩波文庫)

5/26

第2回

渡辺 華山 『^{げきせつわくもん}駄舌或問』・『^{しんきろん}慎機論』

主として医学へと向かっていた「蘭学」を、西洋列強のアジア侵略の急激な圧力「外患」のもとで、一気に「洋学」へと押しひろげた武士知識人の危機意識。(岩波文庫)

6/2

第3回

今泉 みね 『名ごりの夢』

江戸の蘭学の名門桂川家(七代目甫周)の一人娘みねが回想する、幕末江戸の大川端の夕焼けの空。幼いみねをおんぶして自宅に連れて行ってアメリカみやげをくれた福沢(諭吉)さんのお背中が大きかったことを、「まるで夢のございますねえ」と回想する老媪の語り口そのものが、もう一つの幕末を彷彿とさせる。(平凡社、東洋文庫)

6/16

第4回

福沢 諭吉 『福翁自伝』『^{ついでん}故大槻磐水先生五十回追遠の文』

故郷中津藩の息苦しさ嫌い、その故郷に自分の足で砂をかけて長崎の蘭学塾に向かった福沢青年。幕末3回の洋行から慶応義塾、西洋事情、学問のすすめなどへと、ペリー来航を「一線の血路」としてみずから運命を切り開いていった眉目秀麗の知的エリート、その「颯々」たる姿。1876年(明治9)大槻玄沢(磐水)五十回忌の集会で、日本洋学の代表として彼が読んだ「追遠の文」は、幕末＝明治の思想史の骨格を把えた稀代の名文。(岩波文庫及び岩波『福沢諭吉選集』第12巻)

6/23

第5回

久米 邦武 編述 『特命全権大使米欧回覧実記』(明治4年～6年)

明治新政府が派遣した旧武士集団50名による米欧文明研究の報告書。その周到的な観察と旧日本への真摯な反省、豊かで鋭い感受性、そしてみごとな漢文訓み下し体の文章。私はこの「実記」を日本人による西洋研究の空前絶後の金字塔と呼ぶ。徳川文明はこの使節団に収斂し、明治日本はこの大冒険から出発した。(岩波文庫 全5冊)

6/30

主催：古典の日推進委員会

後援：京都新聞 特別協賛：裏千家 村田機械株式会社



講師プロフィール：芳賀 徹（はが とおる）

1931年生まれ。東京大学教養学部卒。東京大学院比較文化博士課程修了・文学博士。東京大学教養学部教授、プリンストン大学客員研究員、国際日本文化研究センター教授、京都造形芸術大学学長、岡崎市美術館、静岡県立美術館の館長を歴任。1997年紫綬褒章、2006年瑞宝中綬章、2009年京都府文化賞特別功労賞を受賞、2012年京都市文化功労者表彰。

おもな著書に『大君の使節』、『渡辺華山・優しい旅びと』、『平賀源内』（サントリー学芸賞）、『絵画の領分』（大佛次郎賞）、『与謝蕪村の小さな世界』、『みだれ髪の家譜』、『詩歌の森へ』、『藝術の国日本—画文交響』（蓮如賞）ほか。近著に『文明としての徳川日本：一六〇三—一八五三年』（筑摩選書）。



募集要項

応募締切日 平成30年4月24日(火) ※必着

- 下記記入例を参照の上、郵便往復はがき1通につき1名でお申し込みください。
- 申し込み多数の場合は抽選。抽選結果の通知については5月上旬を予定しております。
- なお、当選者の方には、受講料の入金確認後、受講票（返信はがき）を送付いたします。（振込手数料は各自ご負担）
- 入金後のキャンセルはできませんのでご注意ください。

【往復はがき記入例】 記入例を参考に、必要事項を黒のボールペン等ではっきりとご記入ください。
（字が消せるタイプの筆記具はご使用にならないでください。）

【往信用の表】

【返信用の裏】

【返信用の表】

【往信用の裏】

郵便往復はがき	6040862
往信	京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5階 古典の日推進委員会 「街かど古典カフェ」 春季講座係
返信用の裏	※この面には何も記入 しないでください

返信	お名前様	自身の住所
返信用の表	この折りを内側に折って差し出してください	①氏名(フリガナ) ②郵便番号、住所 ③電話番号 ④メールアドレス *お持ちの方のみ ⑤性別 ⑥年齢

【注意事項】 次の場合は応募が無効となりますので、ご注意ください。

- 郵便往復はがき以外での応募
- 重複応募
- 1通につき2名以上の応募
- 記入漏れ、記載不備
- 応募締切日を過ぎたもの

【その他】

- 応募方法については、古典の日ホームページにも掲載しております。
- 応募時にご記入いただいた個人情報につきましては、古典の日推進委員会の事業のご案内や各種連絡の目的にのみ使用します。
- 応募等についての問合せは、古典の日推進委員会までお願いします。

会場地図



問合せ先

古典の日推進委員会

〒604-0862

京都市中京区烏丸通夷川上ル
京都商工会議所ビル5階

TEL: (075) 212-4767

TEL: (075) 212-4121

*月～金 9:00～17:00 (土日祝は除く)

◆ホームページ◆

<http://www.kotennohi.jp/>

古典の日

検索

Facebookにて新着情報配信中

虎屋京都ギャラリー（虎屋菓寮 京都一条店横）

京都市上京区一条通烏丸西入広橋殿町400

※京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅下車6番出口より徒歩約7分